

令和5年度 研究全体計画

研究研修部

【研究主題】 デジタル教材等を活用した個別最適な学びを実現するための指導の在り方
～教科書等のデジタル化に着目して～(1年次)

1 研究主題設定理由

文部科学省は令和3年1月に『「令和の日本型学校教育」の構築を目指して』(答申)を発表した。この答申では、児童生徒が自らの学習課題に応じて、ICT 等を活用しながら、着実に資質・能力を身に付けていくといった内容が示された。この発表を受け、当校では令和3年度と4年度にこの「個別最適な学び」の指導の具体を明らかにするための校内研究に取り組んだ。この2カ年の校内研究において、「個別最適な学び」について先進的に取り組んだ通常学校等の取組を参考に、①学習診断、②教材選定、③指導方法の工夫、④評価という4つの指導ステップを踏み、授業研究することを試みた。加えて、①の学習診断では、書籍等の学習指標等で学習上のつまづきを把握すること、②の教材選定では、つまづきに対するアプローチとして積極的にICT教材を活用することを推奨し、授業研究に取り組んだ。その結果、令和4年度末時点で教師が学習指標等を活用した割合は全体の約7割、ICT教材は全体の約9割であることが職員アンケートから明らかとなった。さらに、上述のステップを踏んだアプローチによって児童生徒の学習上のつまづきを解消、改善できたと捉えた教師は、全体の約8割を占めた。このことから、校内研究として個別最適化学習を実施するために学習指標やICT教材を活用しながら、上述の指導ステップを踏んだ研究方法には一定の効果があつたと考える。

さて、文部科学省は令和4年8月に令和6年度から小学校5年生から中学校3年生の外国語においてデジタル教科書を導入することも発表した。令和7年度以降には算数・数学での導入も検討することとなっている。教科書は児童生徒に国民として必要な基礎的・基本的な教育内容の履修を保障するものとして、その使用を義務づけている。特別支援学校では、検定教科書と文科省著作教科書の他に一般図書の使用が認められているが、知的障害特別支援学校での文科省著作教科書の利用率は3割未満という研究結果(武富, 2022)や旧107条本の利用率が4割未満という研究結果(三浦, 2006)が出ており、障害のある子供たちの教科書活用については十分とはいえない状況にある。これらのことを踏まえ、令和5年度の校内研究として、今後実施となる教科書のデジタル化と特別支援学校における教科書活用という2つの教育課題を改善、克服するための校内研究に取り組んでいく。その際、昨年度の成果である個別最適化学習を進めるための学習指標活用や指導ステップを踏む手順は今年度も継続していきたい。

この他、当校職員として肢体不自由を中心とした障害特性や特別支援教育の中核をなす自立活動、児童生徒の人権等の理解を深め、その専門性を向上させる研修に取り組んでいきたい。加えて、当校教職員の多様なニーズに応えるために、選択希望性の研修を多数企画し、職員一人一人が主体的に研修に取り組めるようにしていきたい。さらに、新型コロナウイルス感染症予防に留意した研修形態を必要に応じて実施すると共に、研究研修部が特別支援教育に関する最新情報を調査し、職員にその情報を提供することも実施していきたい。

<文献>

武富博文(2022)知的障害者用教科書・教材等の作成に関する政策提言―知的障害者用教科書・教材等に関するアンケート調査を通して―。広島大学特別支援教育実践センター研究紀要 第20号, 97-108。

三浦道弘(2006)文部科学省著作教科書(養護学校用)及び学校教育法 107条に規定する教科用図書に関する研究。北海道大学公教育システム研究, 5, 45-116。

2 ねらい

- (1) 個別最適化学習を進めるための指導ステップを基にした授業研究を行う中で、デジタル教材等を活用した指導の具体や傾向等を明らかにする。
- (2) 当校教職員の一人として、児童生徒の障害理解や指導方法等における専門性の向上を図る。

3 研究方法

(1) 授業研究

- ・年度初めに、研究研修部が上述の指導ステップ及びデジタル教材等の活用方法等について説明し、全教職員の理解を深める。
- ・毎月1回、各学級・学習グループ単位で実践研究協議を行う。(5月～12月)
- ・長期休業中(夏季及び冬季)に、一人一実践の授業研究を基に指導成果等をまとめ、発表し合い、情報の共有化を行う。
- ・年度末に研究研修部が実践研究全体をまとめ、全教職員に指導の具体や傾向等を説明する。

(2) 専門研修

- ・専門性向上を図るため、次頁掲載の研修を実施する。

(3) 情報提供

- ・最新書籍や参考となる文献、サイトの紹介及び外部団体等の研修案内を行う。
- ・「みんなの図書館(PC データフォルダ)」に参考となる文献、研修資料等を収集し、職員に紹介をする。

令和五年度 研修計画一覧

研究研修部

<研究主題>

「デジタル教材等を活用した個別最適な学びを実現するための指導の在り方
～教科書等のデジタル化に着目して～」(1年次)

障害理解分野【5講座5回】

研修内容	日程	対象	企画・運営
障害の理解と指導の実際	4月2週	新・選	保健
運動発達講座	夏季休業	選	体育
認知特性講座	夏季休業	選	生活・社会＋ 算数・数学＋ 理科
手指発達講座	夏季休業	選	職業生活
言語発達	夏季休業	選	国語＋外国語

授業研究分野【5講座16回】

研修名	日程	対象	企画・運営
研究全体会① ②	4月 2月	学	研研
授業研究の進め方	5月	学	研研
学級・グループ別研修	5月～11月 (毎月1回)	学	研研
中間発表会	夏季休業	学	研研
実践発表会	冬季休業	学	研研

指導・支援方法分野【6講座23回】

研修内容	日程	対象	企画・運営
個別の指導計画、支援計画	4月	新・選	教務・コーディネーター
身体介助①②	4月1週 夏季休業	新・選	自活
摂食指導①②③	4月1週 6月 夏季休業	新・選 選 新・選	給食
実態把握①②＋カンファレンス①②③	4月、6月、 夏期休業、 9月、11月、1月	学 *一部寄宿舎と合同	自活
医療的ケア	6月	選	医ケア
ICT①～⑩	年10回	選	ICT

その他【7講座11回】

研修名	日程	対象	企画・運営
人権・子供理解	5月、9月、1月	学舎	研研
道徳・同和教育	10月、12月	学舎	道徳・同和
不審者対応	夏季休業	学舎	安全防災
緊急対応	夏季休業	学舎	各学部
救急法	夏季休業	学舎	保健
いじめ・自殺予防	夏季休業	選	生徒支援
福祉サービス	夏季休業	選	コーディネーター
進路	夏季休業	選	移行支援

寄宿舎研修【9講座 15回】

研修内容	日程	対象	企画・運営
班別指導実践研修	月1回 (5月～2月)	舎	舎生活
寄宿舎研究説明会	5月	舎	舎生活
寄宿舎研究中間発表会	夏季休業	舎、外	舎生活
寄宿舎研究報告会	3月	舎、外	舎生活
プロフェッショナル	夏季休業	舎	舎生活
IoT①②	7、12月	選	スマート・プロジェクト

<対象表記>

学…………学校職員全員
学舎…………学校・寄宿舎全員
舎…………寄宿舎職員全員
新…………新任者(肢体不自由経験者除く)、 採用3年未満
選…………選択希望者
外…………外部参加者

* 上記研修の他、職員の研修ニーズに応じたミニ研修会(コーヒーマーケティング)を適宜実施します。